

食事風景 (ルカ 7)

聖書には不明確なまま読んでしまいがちな場面があります。そのひとつが食事の状況です。

イエスは徴税人たちといっしょに食事をされています。そのときに最後の晩餐の絵にみられるようにテーブルで食事をする場面が絵画には出てきます。

しかし実際はそうではなかったようです。砂漠を遊牧する民が食事のためのテーブルを持ち運んでいないことは明らかです。定住してからもその生活習慣は同じであったはずで、食事風景もそのことを理解しておくことが大切です。

映画「ベンハー」に食事風景が出てきます。「ぶどう酒」のテーマでも紹介しているビデオですが終わりの方(時間 9'00")に家族が食事をする場面が出てきます。

次の一節は食事時の描写です。

「(イエスが皆といっしょに食事をしているとき) 罪の女が香油のつぼを持って来て、泣きながらイエスのうしろでその足元に寄り、まず涙でイエスの足をぬらし、自分の髪の毛でぬぐい、そしてその足に接吻して、香油を塗った」(ルカ 7:37-39)

腰かけて食事する風景を考えていると、彼女がテーブルの下にもぐりこんでイエスの足を洗ったと誤解してしまいます。食事の場面はいくつか出てきます。きちんと理解しておきましょう。

そうは言っても、寝そべて食事をするには私たちには違和感があります。これは仕方ありません。

参考図書：

マンフレート・バルテル(山本七平、小川真一 訳)
講談社「聖書をこう読む(下)」



Youtube ベンハー(スペイン語版)

<http://www.youtube.com/watch?v=HSzVBk2egL0&feature=related>